



H3 Ansibleサーバ/ネットワーク運用自動化ハンズオン～ 基礎から応用まで～

2021年11月18日
レッドハット株式会社
中島 倫明
齊藤 秀喜



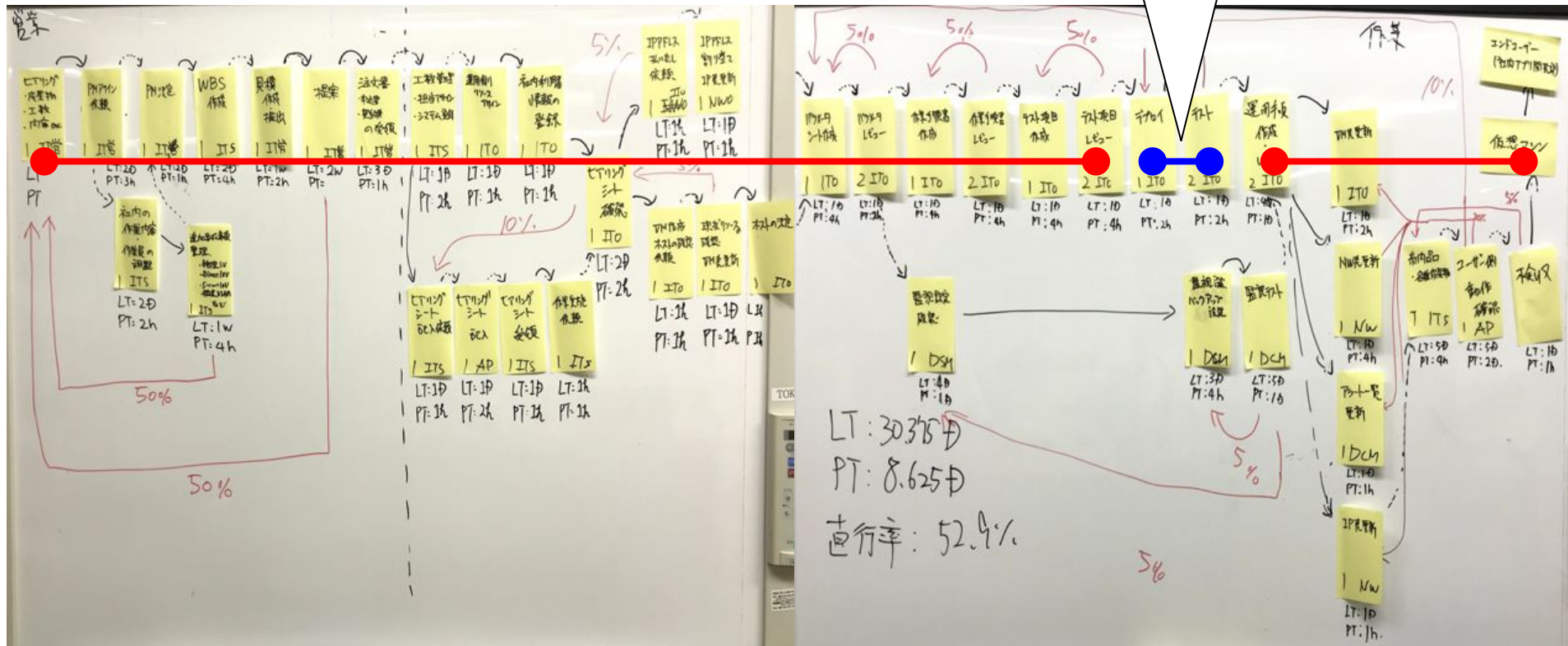
本日のプログラム

- 13:00 ~ 13:30 Ansibleの概要
- 13:45 ~ 15:45 Ansible 基礎ハンズオン -サーバ編-
- 16:00 ~ 18:00 Ansible 応用ハンズオン -ネットワーク編-

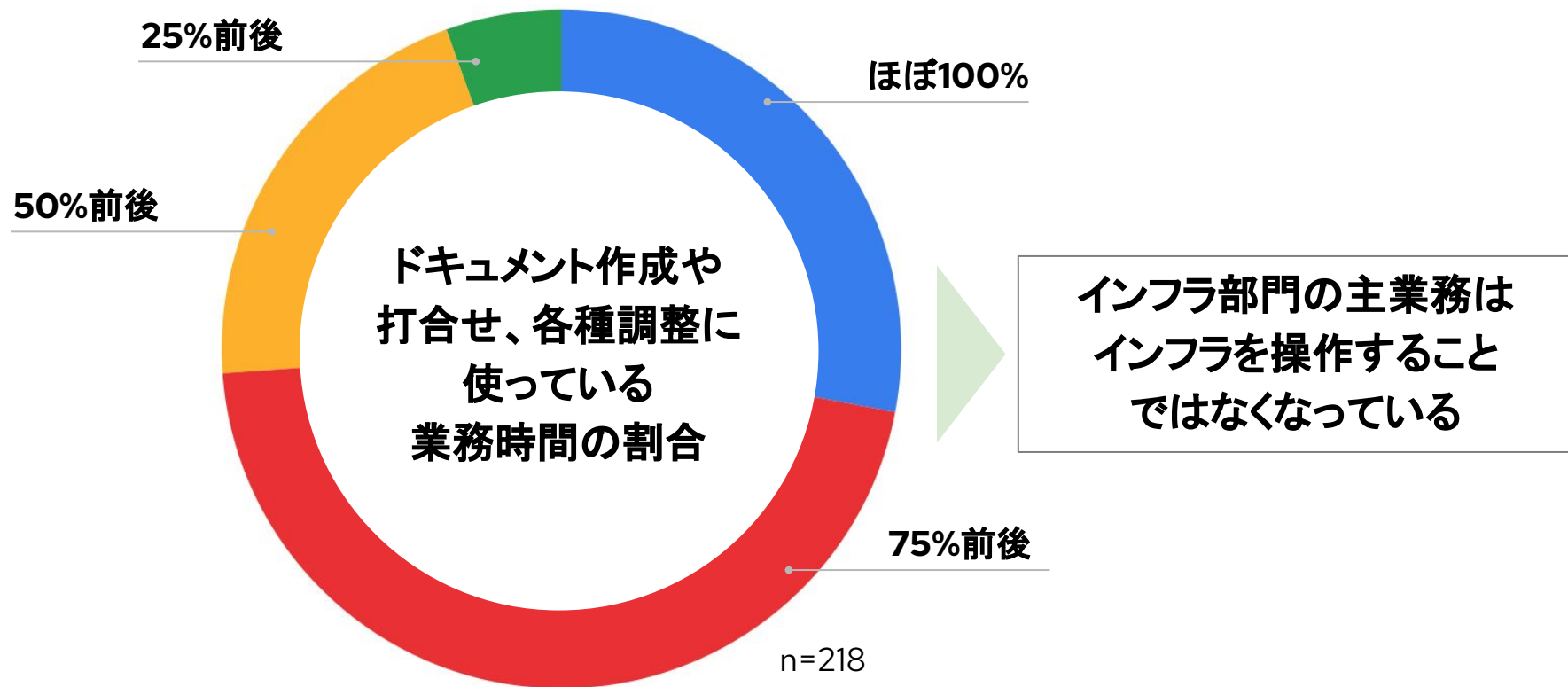
自動化でアプローチする課題

インフラ業務の実態

実際に作業しているのはここだけ

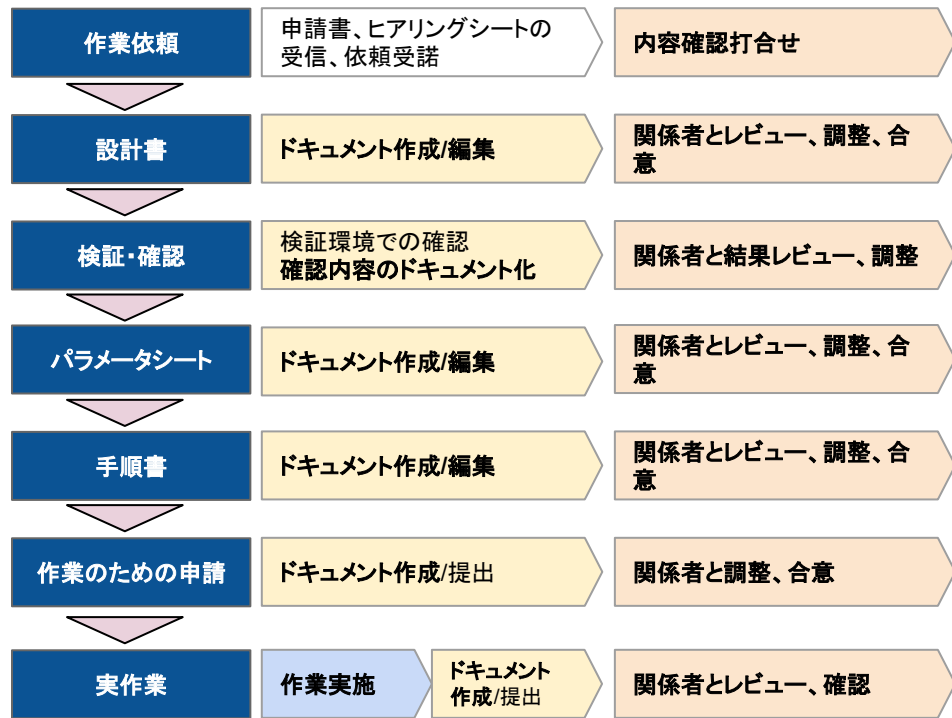


ドキュメント作成や調整に多くの時間が費やされている



Red Hat 実施 Automation Day ワークショップ結果より

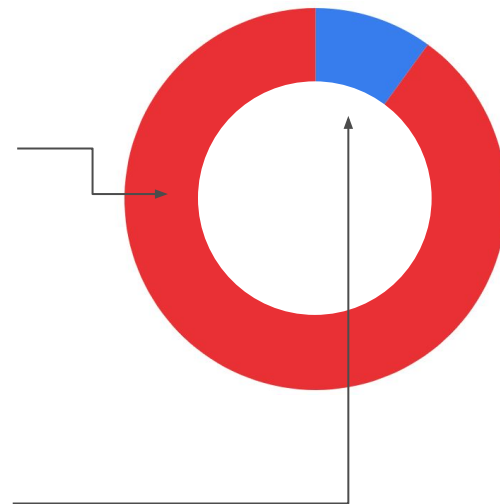
積み重なるコミュニケーションコスト



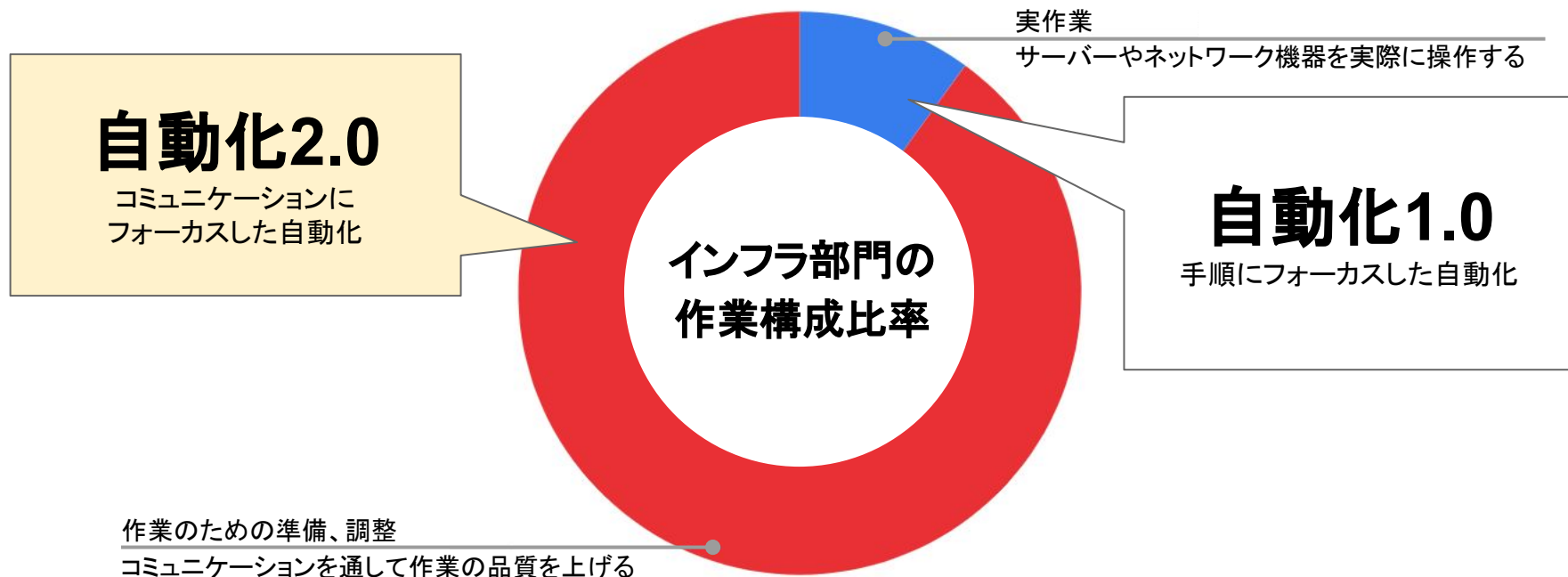
人と人のコミュニケーションを通して、構築や運用の品質を上げる

作業によってインフラを構築・運用する

インフラ部門の作業構成比率

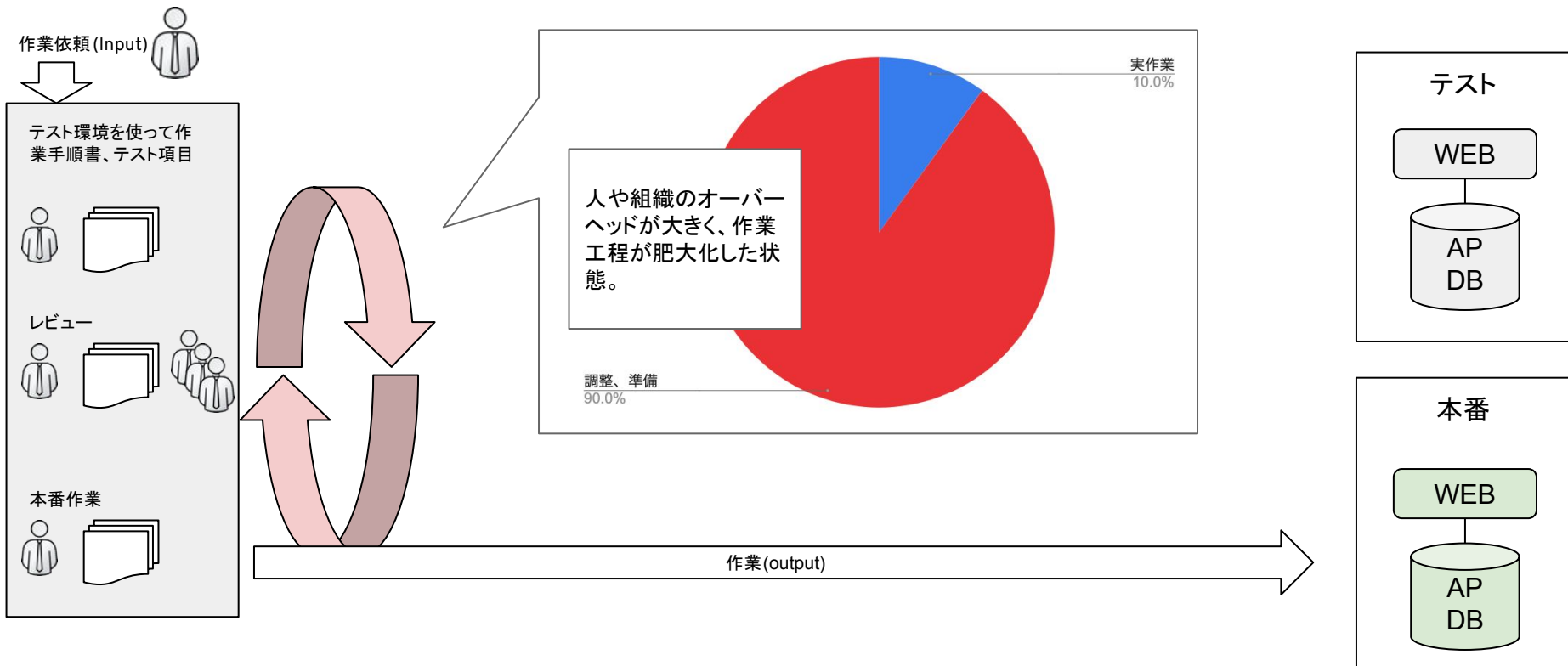


現代のインフラ部門の業務実態に合わせた自動化のアプローチ

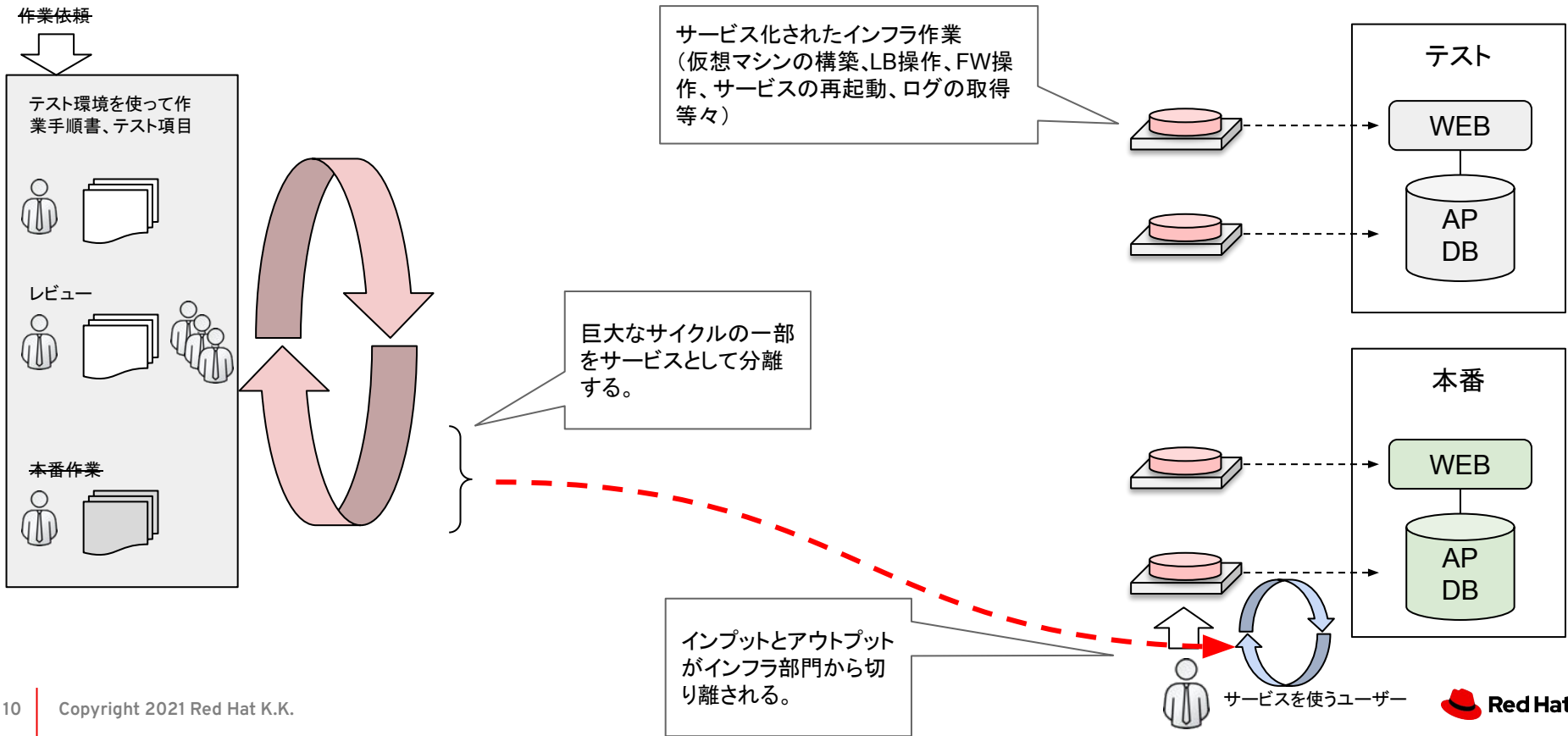


自動化で目指す姿

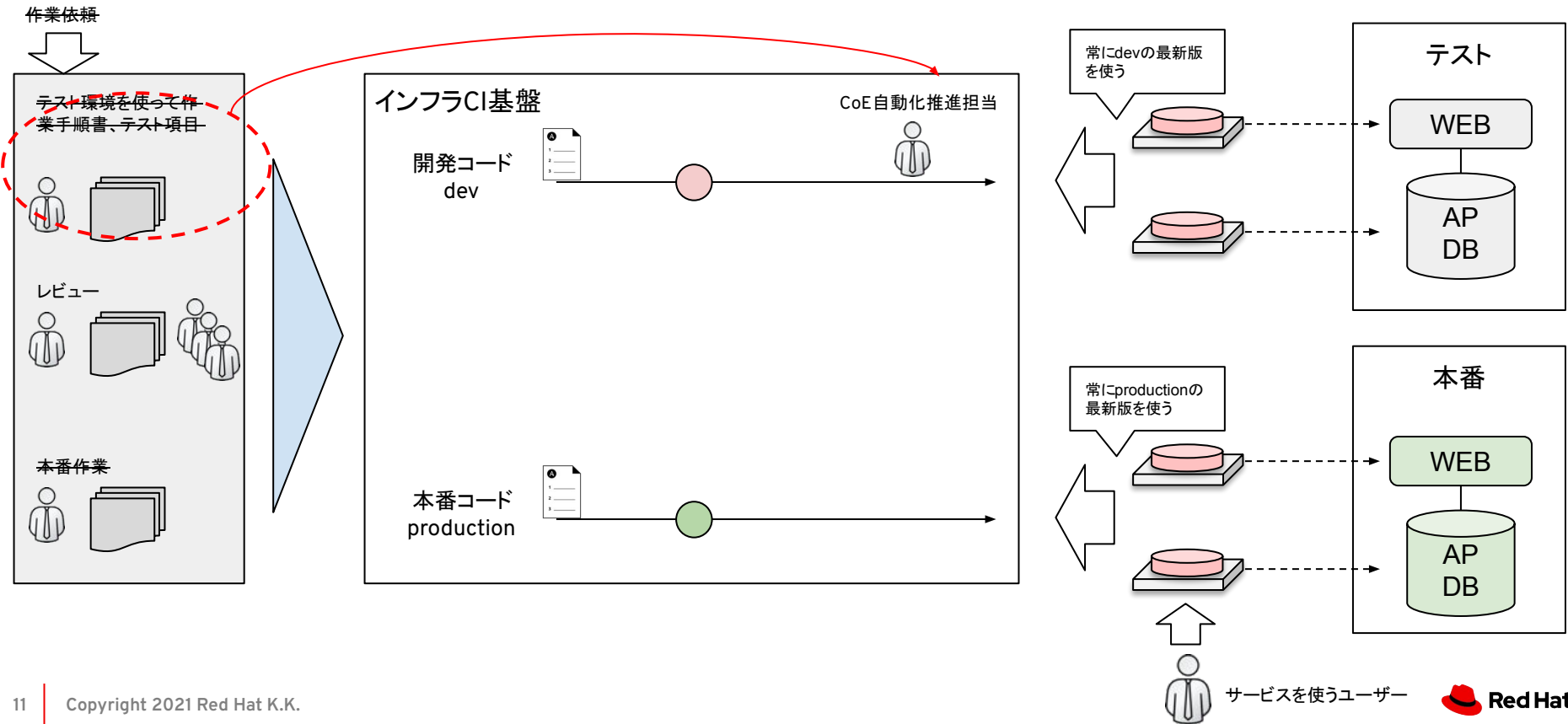
(自動化2.0化のイメージ)導入前



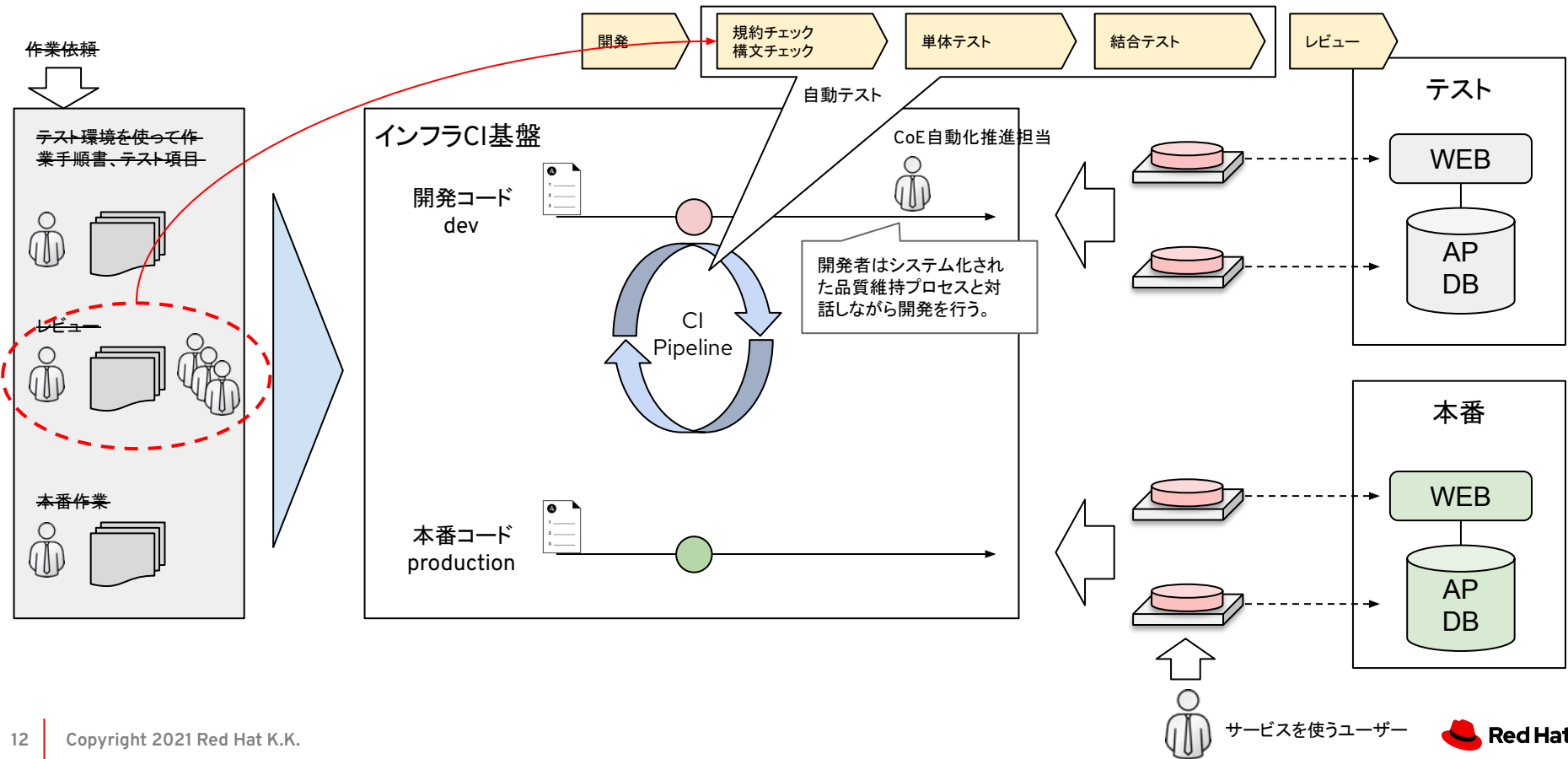
(自動化2.0化のイメージ) サービス化した状態



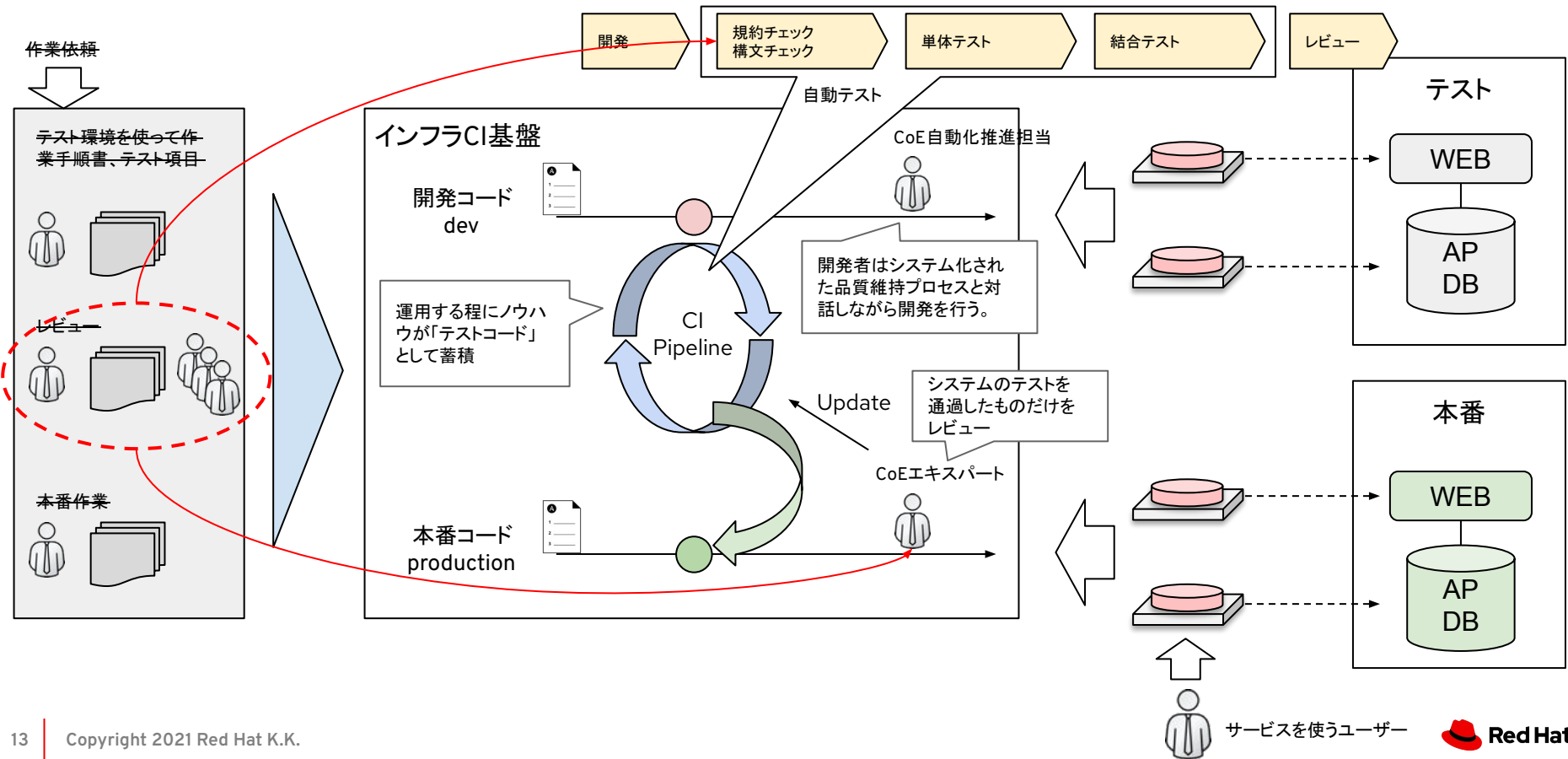
(自動化2.0化のイメージ) インフラCI基盤を配置した状態



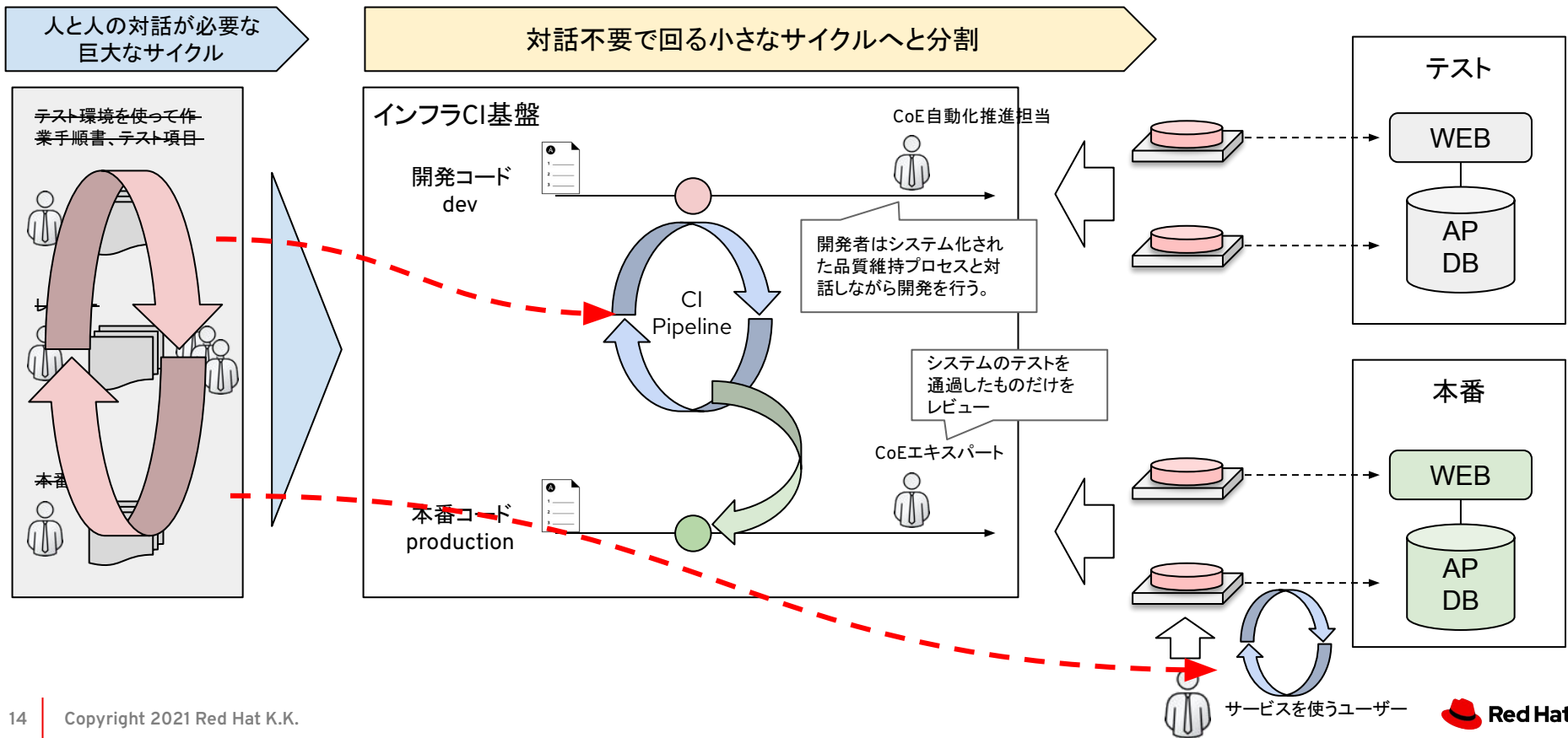
(自動化2.0化のイメージ) インフラCI基盤での自動化開発(1)



(自動化2.0化のイメージ) インフラCI基盤での自動化開発(2)

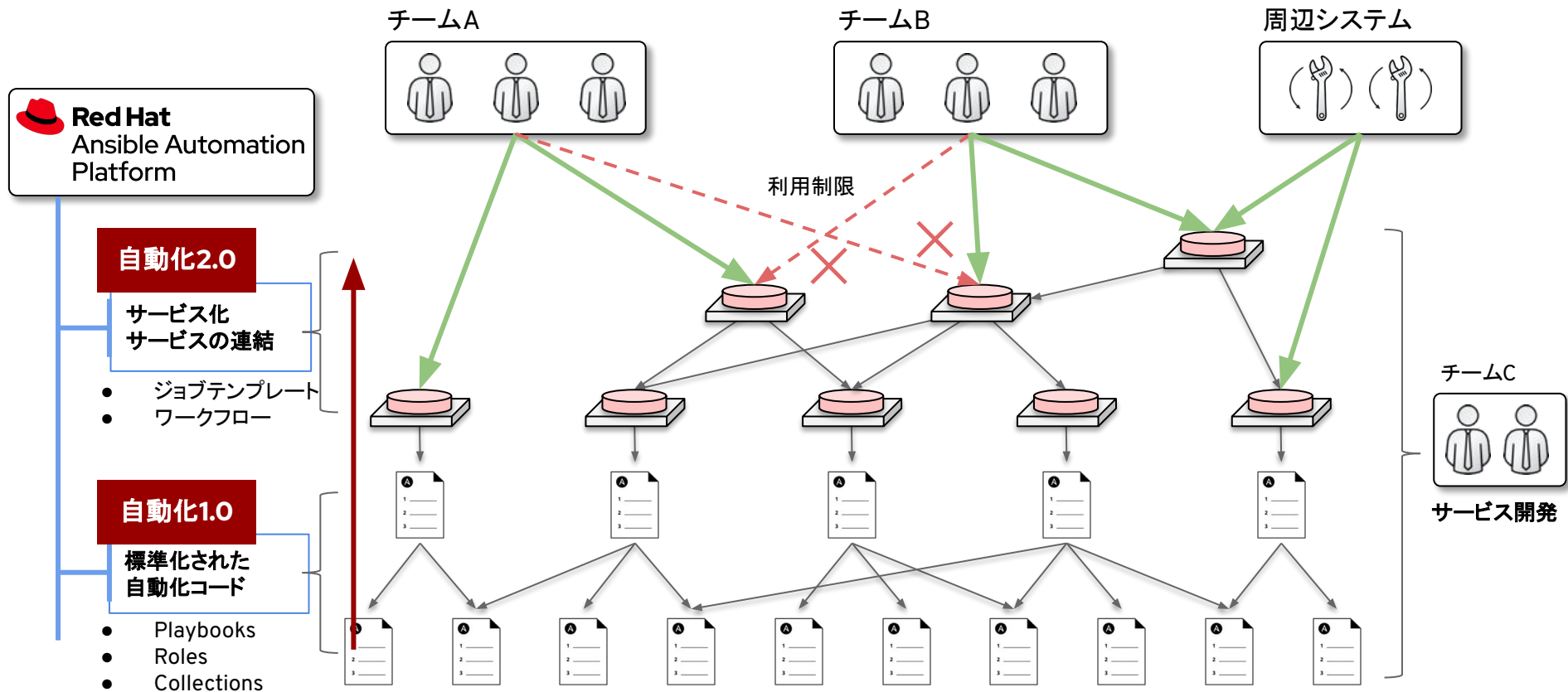


(自動化2.0化のイメージ) 自動化2.0が定着した状態

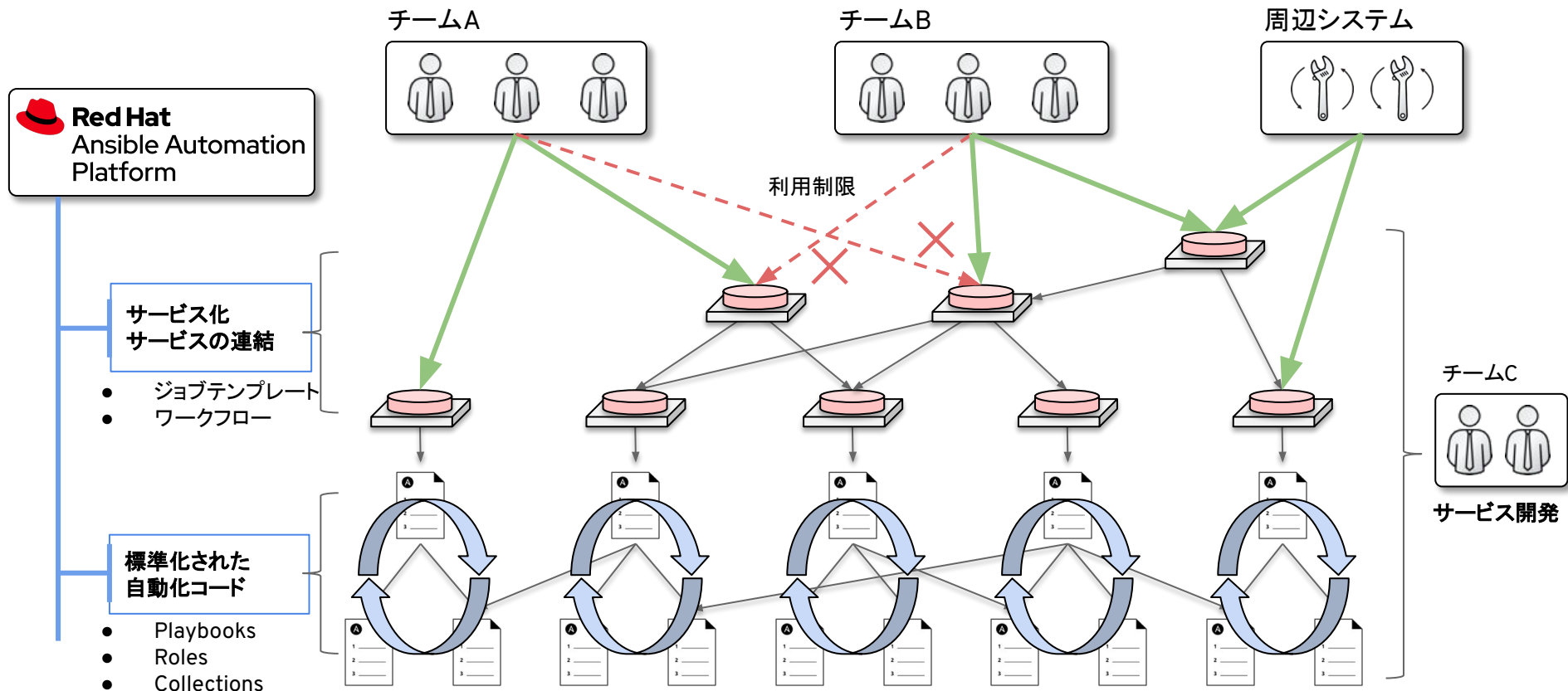


Ansibleによる自動化2.0

手順の置き換えからサービス化への移行をシームレスにサポート

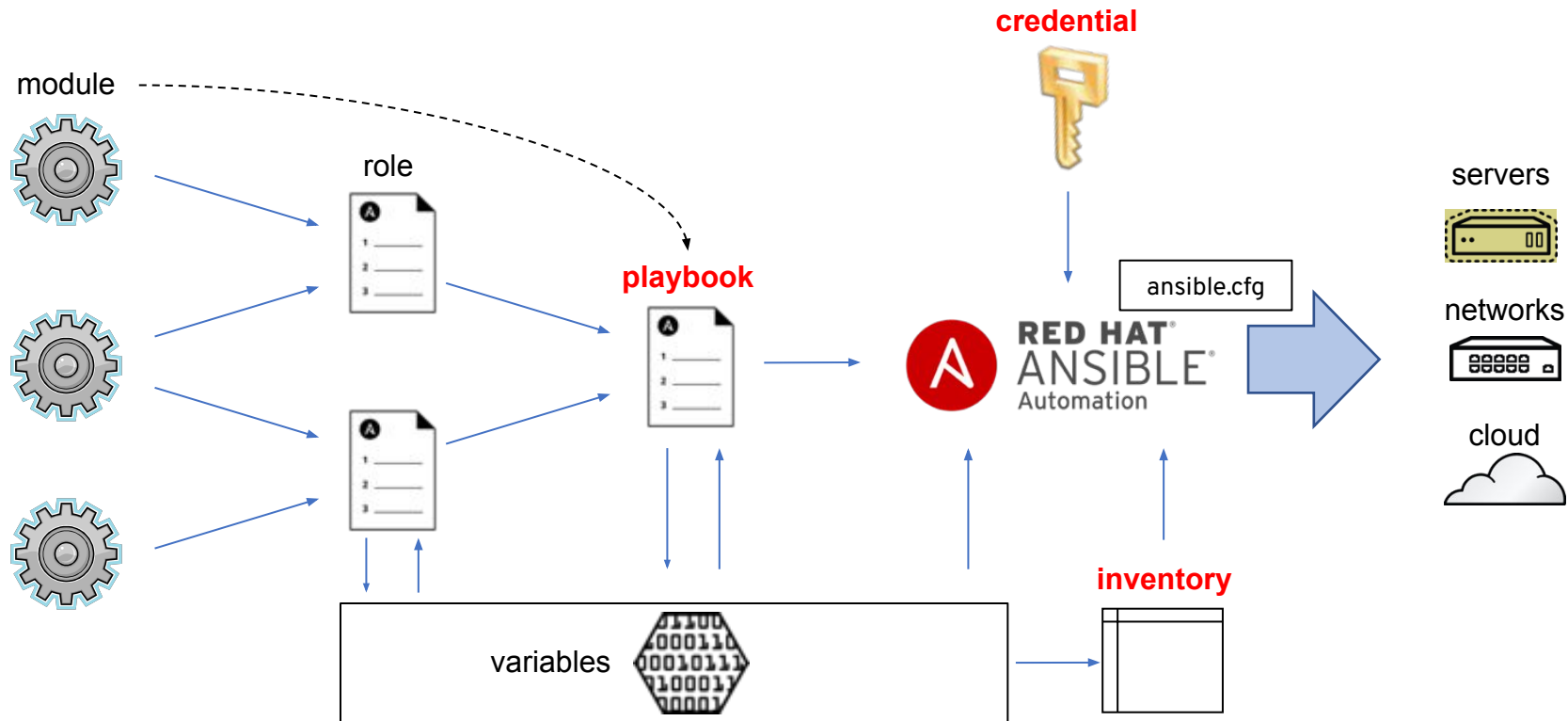


サービスとコードが分離されているためインフラCI化が容易



ハンズオン

Ansible の構造



まとめ

まとめ

- ・ インフラ効率化には自動化1.0から自動化2.0へのシフトが重要
 - 手順に着目した自動化から、対話の最適化に着目した自動化へ
- ・ 自動化2.0へのシフトでインフラ部門の働き方は変化
 - ドキュメントと打合せ中心の労働集約型から、コードを中心とした知識集約型へ
- ・ 演習ではまずAnsibleを使った自動化1.0からスタート
 - 標準化された手順のコード化

ANSIBLE AUTOMATES

THANK YOU



[youtube.com/AnsibleAutomation](https://www.youtube.com/AnsibleAutomation)



[facebook.com/ansibleautomation](https://www.facebook.com/ansibleautomation)



[linkedin.com/company/Red-Hat](https://www.linkedin.com/company/Red-Hat)



twitter.com/ansible